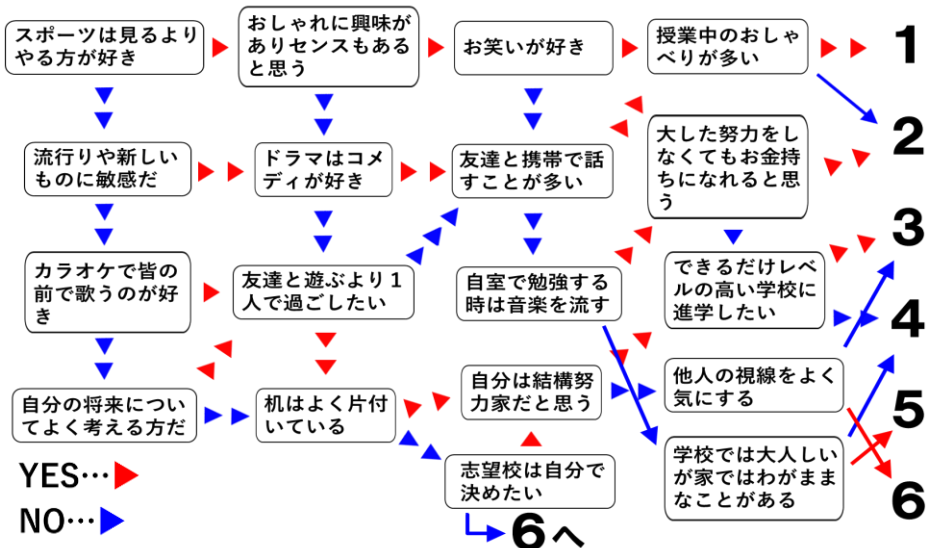


陽キャと陰キャができるまで～スクールカーストと教師の対応～

仙台第三高等学校 教育心理 F3班

あなたはどのタイプ？



- 1タイプ（根明）…お調子者タイプ。おしゃべりが好き。
 2タイプ（根明）…能天気で楽道家。
 3タイプ（真面目）…心配性でプレッシャーに弱い。
 4タイプ（真面目）…気ばかり焦ってしまう。不器用。
 5タイプ（大人しい）…他人任せですぐあきらめてしまう。
 6タイプ（大人しい）…自信がなくカラに閉じこもりがち。

【目的】
 過ごしやすいクラスを作るために教育者側ができることを考える。

【仮説】
 スクールカーストとは？

近年、学校教育の現場で課題として挙げられる「いじめ問題」とその大きな原因の一つである「スクールカースト」。今日ではいじめが原因で不登校、自殺に至るケースも少なくない。日本のみならず世界中で問題となっているスクールカーストの本質とはいったいどんなものなのだろうか。私たちは、それは親の性格や教師の教育の仕方がスクールカーストの程度を大きく左右し、様々な問題につながっているのではないかと考えた。

スクールカーストの特徴と原因

【陽キャと陰キャの違いって？】

イラスト

スクールカーストは中学、高校で多く発生
 スクールカーストには個人のコミュニケーション能力が大きく影響する

【幼少期の親の指導と人格形成】
 厳しすぎる→温和で消極的、社会にはなじむ
 神経質に構う→甘え、臆病
 子供に興味がない→冷酷で情緒不安定
 過保護→社会性に欠ける

※『アダルトチルドレン』という言葉を知っていますか？
 …極端思考(1か100か・生きるか死ぬか)、心身の不調、人間関係が極端(べったり関わるか、全く接点を持たないか)
 ⇒生きにくさをもっている

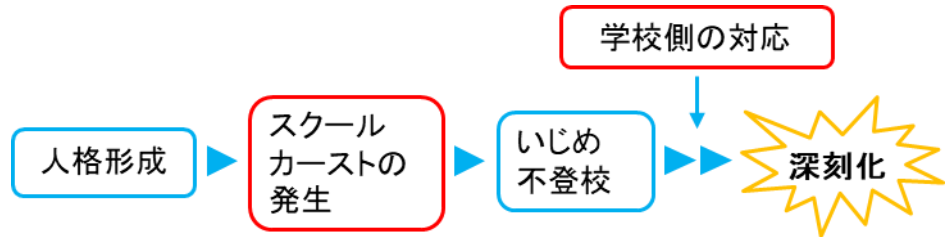
3歳までに経験した事柄や感情、記憶が性格の形成に大きく影響する
 ⇒幼少期の親から受ける教育の大切さ

過ごしやすいクラスとは？

- いじめがない
- 皆が発言への抵抗があまりないと感じる
- グループはあってもグループ同士の壁があまりない

しかし…
 「過ごしやすいクラス」が大人たちによって壊されている？
 ・幼少期の親の指導
 ・教員の指導の仕方
 ・教育委員会の学校での問題等への対応
 ⇒スクールカーストやいじめの深刻化に影響

- 例)
 ○教育委員会の隠蔽体質
 ・とある学校でいじめが発生し、学校側が謝罪した市も関わらず教育委員会側は「いじめとは判断できない」とした
 ・教育委員会主催の講演会での質疑応答など詳細が載っている冊子に、ある生徒が質問した「モンスターペアレント」に関するものだけ内容が記載されていなかったりした
 ○教師の対応
 ・問題が発生している学級の担任が生徒の声に耳を傾けない
 ・生徒を刺激してしまうような介入をしてしまい事態が悪化する



過ごしやすいクラスをつくるために教育者側ができること

教育側の問題

- 教師いじめ
- 矛盾した世論
- 教育委員会の隠ぺい体質

生徒側の問題

- インターネット機器の普及
- 依存
- しつけ

考察

現時点において、指導者側にも生徒側にも大きな問題がある。問題点はあまりに多いのに対して、それに対する改革は十分とは言えない。取り巻く問題はもはや「教員」の許容を超えている。また、問題を解決できないことは、グローバルな時代を生きるにあたり、ローカルな問題を解決できていない、という「日本」のイメージに直結する。日本人が世界に出た時に主導権をなかなか握れないのも、学生時代のカースト制度などが少なからず影響していると考えた。

できることとは

- 親へ基本的なしつけの呼びかけ（情報共有の場を作る）
- 道徳の指導、教育心理の必修化、上手な立ち回り
- 教員が事例と解決法を共有する

参考文献

- 性格診断チャート <http://e-adept.sakura.ne.jp/yusyu/entry10.html>
- 子育ては本当に大事！幼少期の親子関係が将来の人格形成に大きく関与する <http://matome.naver.jp/odai/2140714231475101701>
- いじめ問題に関する施策：文部科学省 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302904.htm